

スーパーマーケット景気動向調査

2014年9月調査結果(8月実績)

(9月22日公表)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況:「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ① 前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査
- ② 前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より調査開始

2.カテゴリー動向:「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ① 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で調査 ※2014年4月実績より調査開始
- ② 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント ※2014年4月実績より調査開始

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1.景況感:「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ① 2~3か月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査
- ② 今後2~3か月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

景気判断は小幅に改善、見通し判断は横ばい

8月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は49.0と前月から+1.8と小幅に改善した。見通し判断については6月以降ほぼ横ばいでの推移となっている。

経営動向調査は、売上高DIが4.1(前月比+4.5)、収益DIは7.4(前月比+4.0)となり共に改善をみせた。生鮮品仕入DIは18.3(前月比+5.0)と大幅に上昇した影響もあり、販売価格DI 12.4(前月比+3.5)や客単価DI 12.6(前月比+3.6)が上昇している。来客数DIは引き続き改善をみせていない。

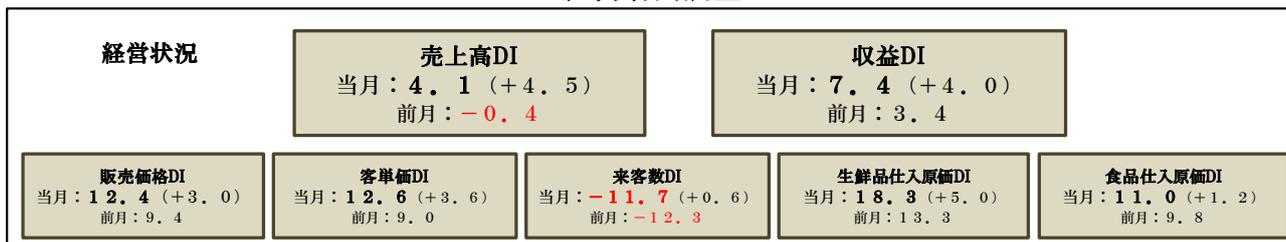
カテゴリ動向では、税率引き上げ以降、生鮮三品(青果、水産、畜産)と惣菜がプラス、一般食品や非食品でマイナスが続いている。なかでも相場高の追い風を受けている畜産はDIが25.2(前月比+3.2)と前月よりさらに上昇しており引き続きかなり好調である。前月マイナスとなった青果は再びプラスに回復、水産も12.8と好調である。惣菜はお盆商戦が好調で9.8となった。一般食品や非食品は前年との気温差が大きく夏物商材が不振であったことに加え、他業態との競合も加わり依然として改善には至っていない。

不安定な天候や前年からの気温差などの悪条件があったものの、日曜日が前年より一日多いことやお盆商戦が比較的好調であったため、全体的にやや改善した結果となった。一方で見通し判断は今月も横ばいでの推移を続けており、消費の先行きに対して慎重な見方は崩していない。

景況感調査



経営動向調査



() 内は前月DIとの増減(赤字はDI減少)

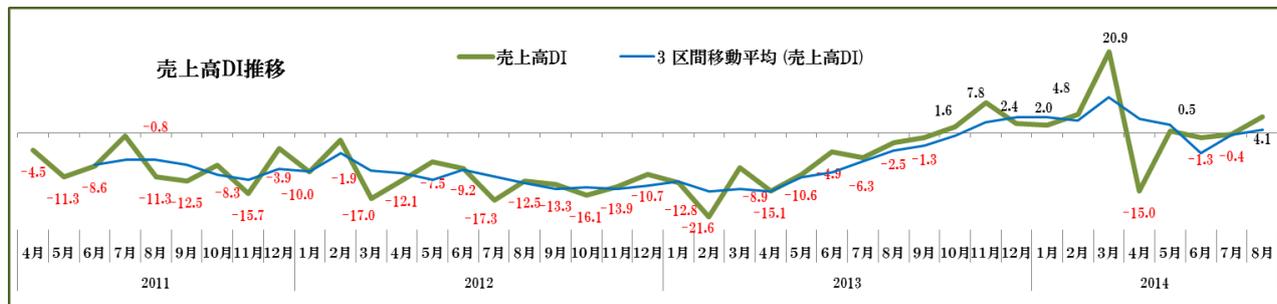
I. 調査結果詳細 1. 経営動向調査

①売上高 DI

ゆるやかに上昇傾向

売上高 (前月)	6.9	30.6	23.3	35.8	3.4
売上高 (当月)	7.5	21.1	23.8	42.7	4.8

■ かなり減少 □ やや減少 □ 変わらない □ やや増加 ■ かなり増加



②収益 DI

5 月以降はプラスで推移

収益 (前月)	6.1	23.0	29.1	34.8	7.0
収益 (当月)	5.8	17.0	27.7	41.1	8.5

■ かなり減少 □ やや減少 □ 変わらない □ やや増加 ■ かなり増加

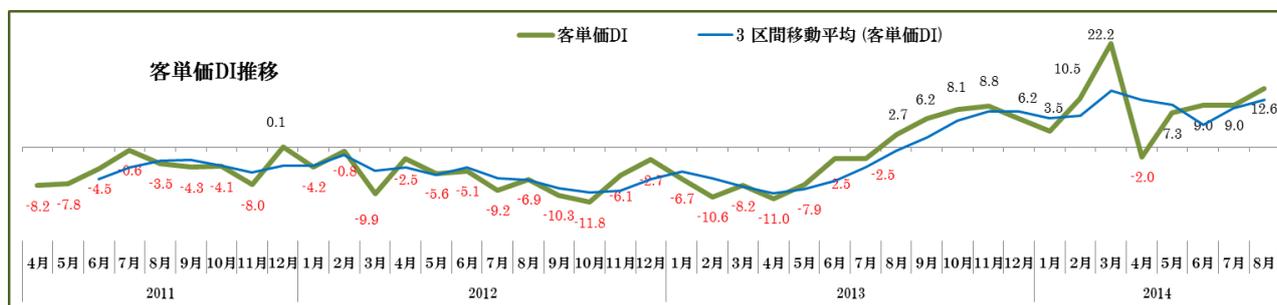


③客単価 DI

ゆるやかに上昇傾向

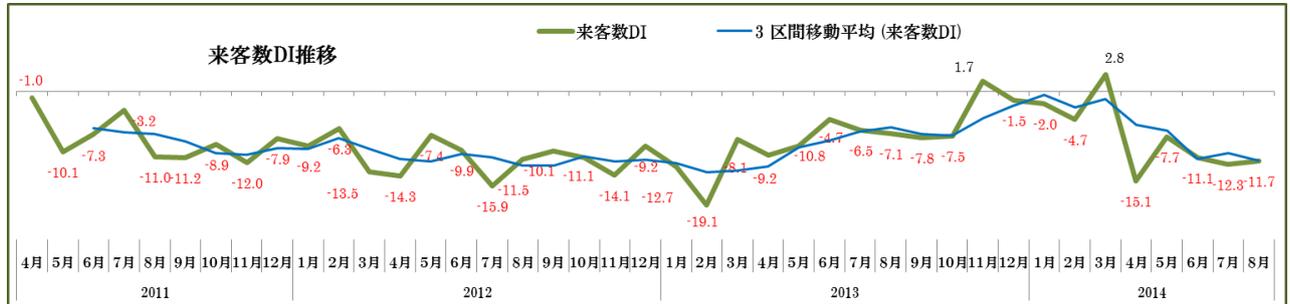
客単価 (前月)	0.9	16.3	30.9	49.8	2.1
客単価 (当月)	0.4	12.4	27.0	56.6	3.5

■ かなり減少 □ やや減少 □ 変わらない □ やや増加 ■ かなり増加



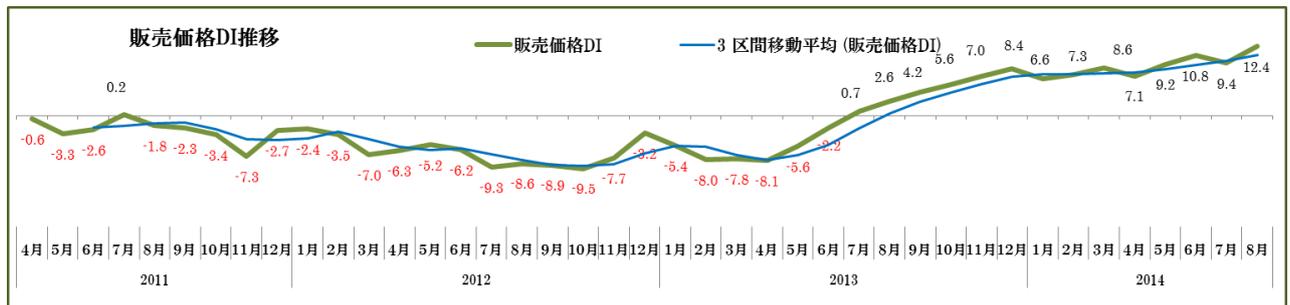
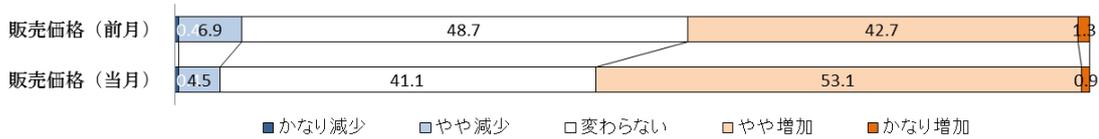
④来客数 DI

税率引き上げ後の下落から回復をみせず



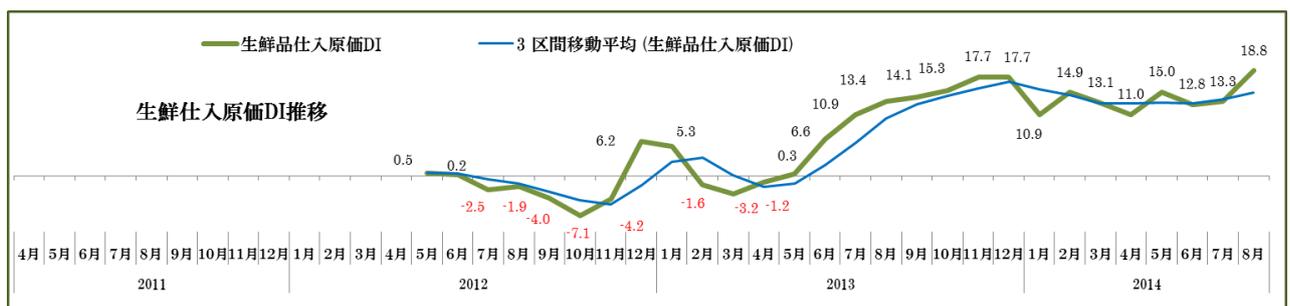
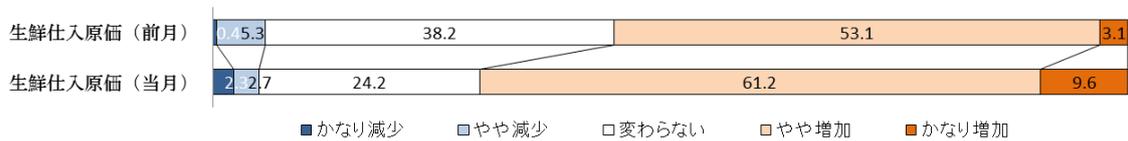
⑤販売価格 DI

ゆるやかに上昇し、高水準で横ばい傾向



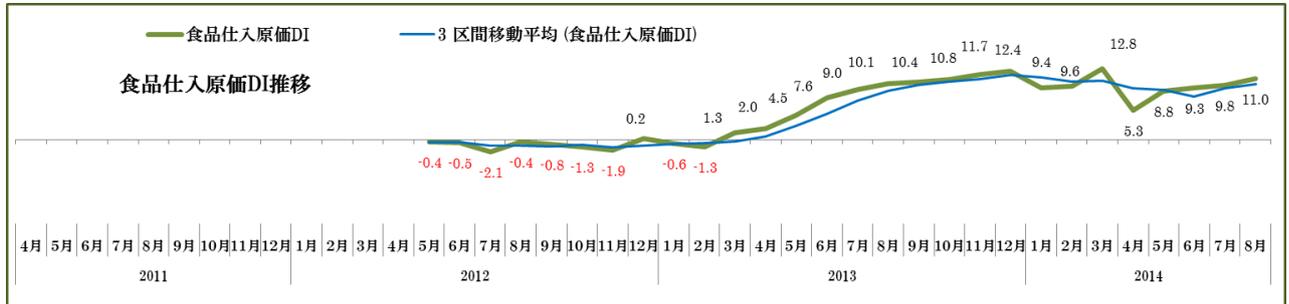
⑥生鮮仕入原価 DI

8月再び上昇し、高水準を記録



⑦食品仕入原価 DI

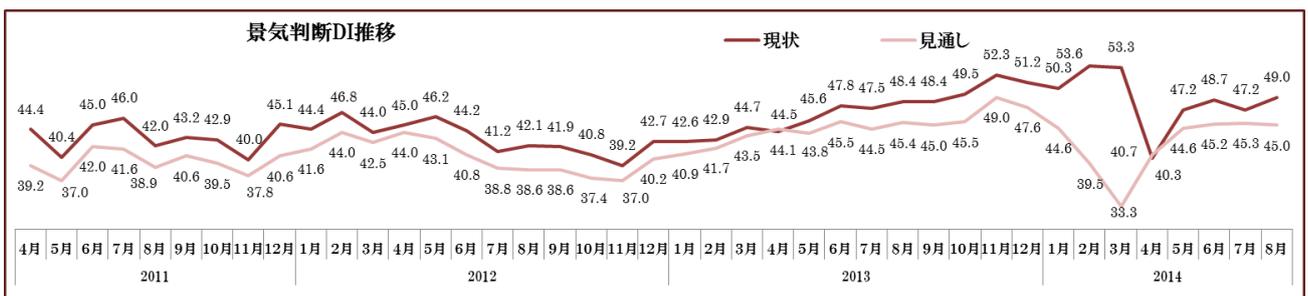
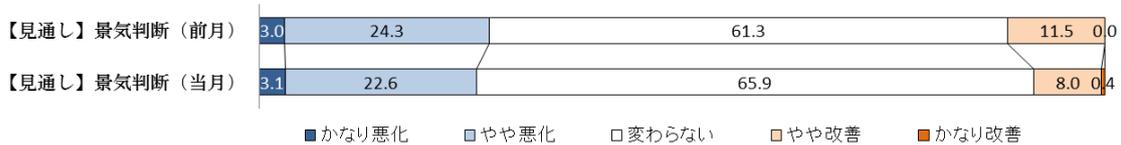
ゆるやかに上昇傾向



2. 景況感調査

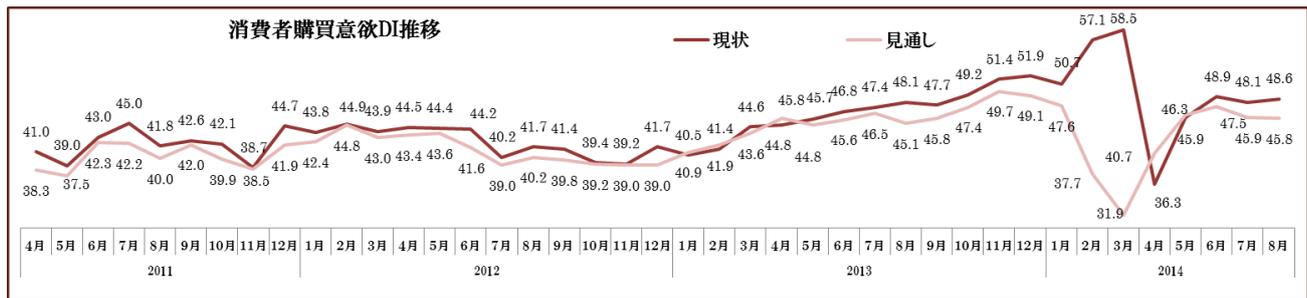
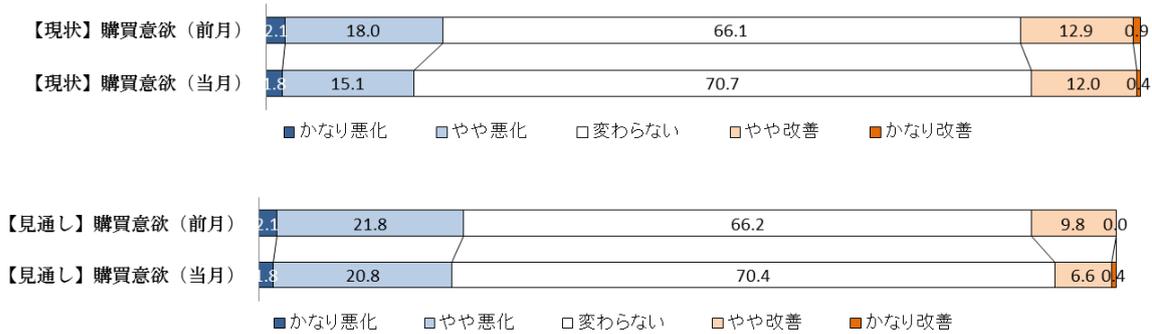
①景気判断 DI

現状判断の改善傾向、見通し判断は横ばい推移



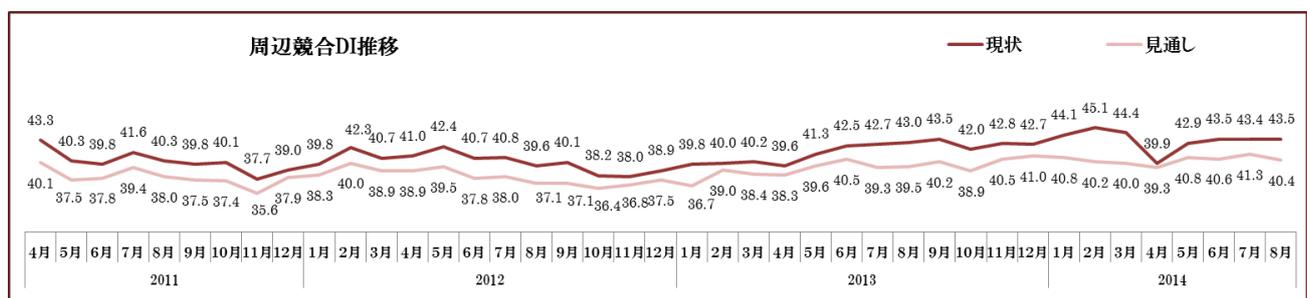
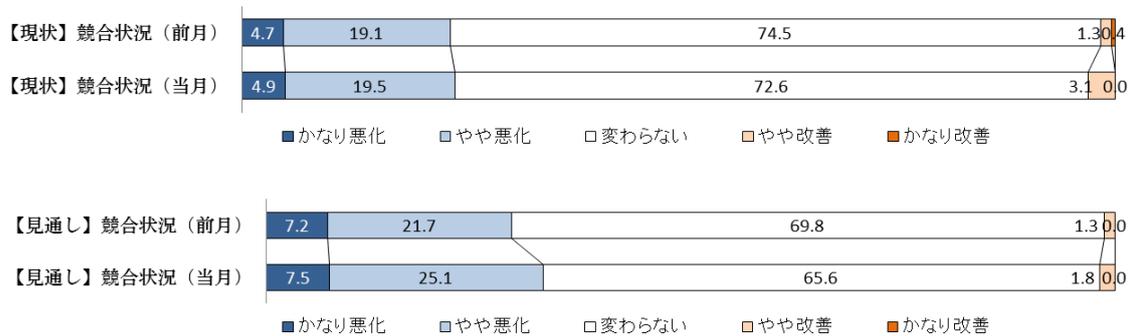
②消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に横ばい推移



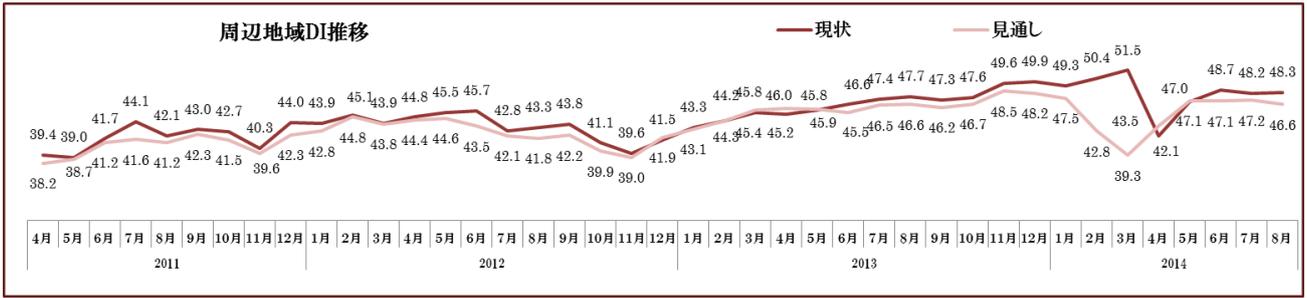
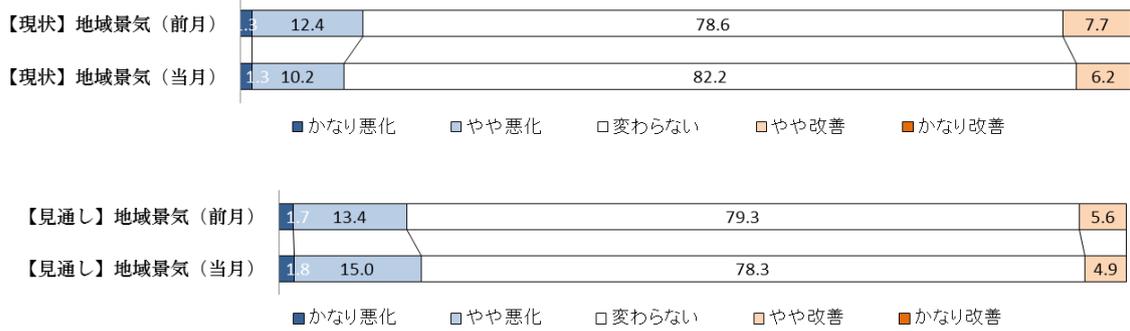
③周辺競合状況 DI

引き続き横ばい傾向が続き、改善の動きは見られず



④周辺地域景気判断 DI

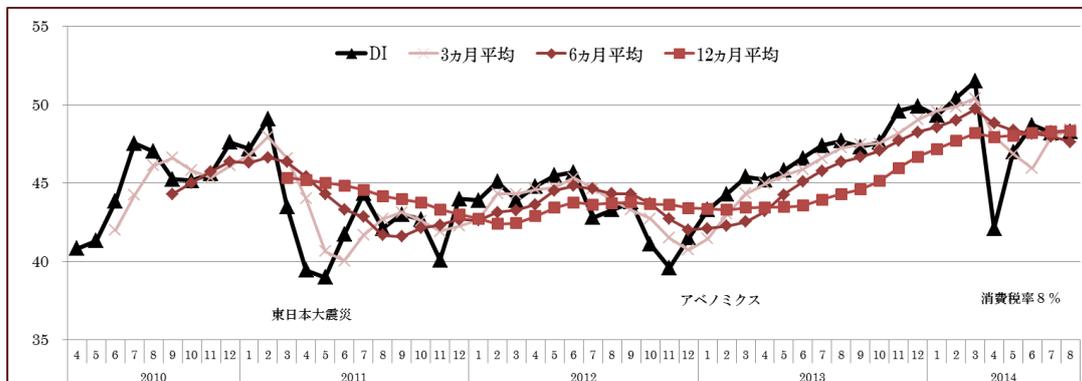
現状、見通し判断は共に横ばい傾向



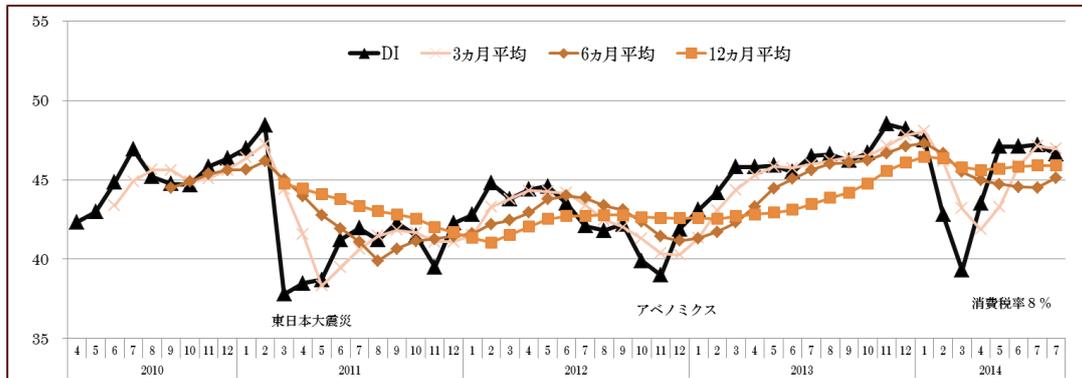
長期傾向（周辺地域景気判断 DI）

消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した現状判断は、5月に中長期移動線付近まで改善をみせたが、6月以降3ヵ月連続で横ばい推移が続いている。方向感がなくなりトレンドが見えない局面にあるといえる。見通し判断は、わずかに中長期移動線の上方に位置しているものの、勢いのない動きとなっている。

現状判断（中長期傾向）

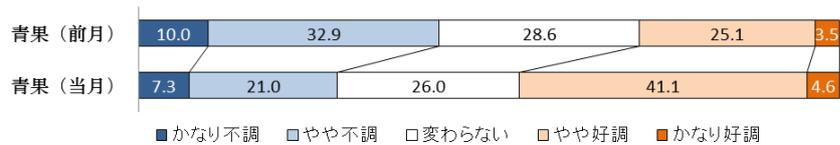


見通し判断（中長期傾向）



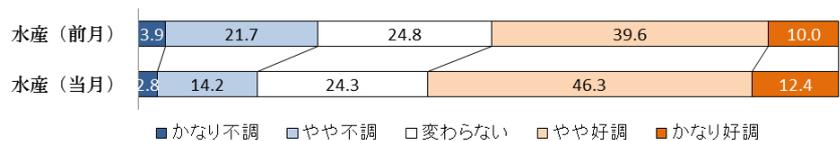
III. カテゴリー別動向

【青果】 やや好調 DI: 3.7 (前月 - 5.2)



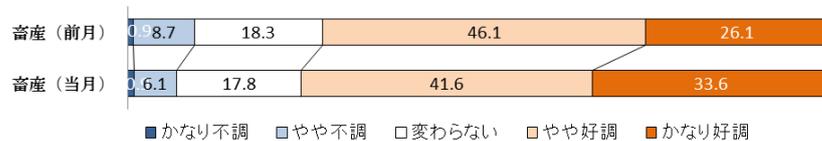
	好調コメント	不調コメント
青果	お盆以降野菜相場高、カット野菜、カットフルーツ	品不足、すいか

【水産】 好調 DI: 12.8 (前月 7.5)



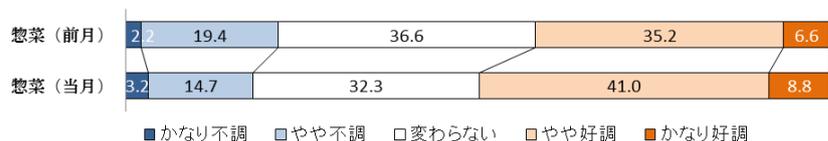
	好調コメント	不調コメント
水産	刺身、さんま、まぐろ、塩干	不漁・入荷不振、価格高騰

【畜産】 かなり好調 DI: 25.2 (前月 22.0)



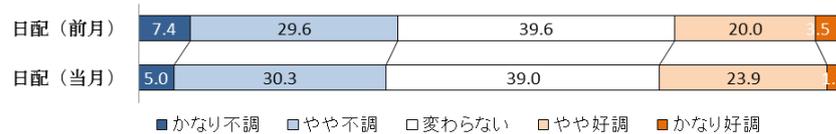
	好調コメント	不調コメント
畜産	相場高(牛、豚)、国産牛、豚、焼肉	(加工品)

【惣菜】 やや好調 DI: 8.8 (前月 6.6)



	好調コメント	不調コメント
惣菜	お盆商材(寿司)、(揚物)	天候要因、

【日配】 やや不調 DI: **-3.2** (前月 **-4.3**)



	好調コメント	不調コメント
日配	パン、	アイスクリーム、乳製品(ヨーグルト)

【一般食品】 不調 DI: **-15.1** (前月 **-13.5**)



	好調コメント	不調コメント
一般食品	菓子、酒	飲料、米、夏物商材、他業態との価格競争

【非食品】 不調 DI: **-16.5** (前月 **-17.1**)



	好調コメント	不調コメント
非食品	紙製品	他業態との競合、たばこ、季節品

() は少数コメント

DIによる好不調判断

かなり好調: 20 以上 **好調**: 10~20 **やや好調**: 0~10
かなり不調: -20 以下 **不調**: -20~-10 **やや不調**: -10~-0

2014年8月キーワード TOP3

1. 天候要因(前年との気温差、豪雨)
2. 日曜日が1回多い
3. お盆商戦

スーパーマーケット景気動向調査

8月実績速報版集計 227社
 7月実績確報版集計 235社